

## 浜名湖魅力発信隊の取り組み情報

### ■浜名湖魅力発信隊のホームページ開設

静岡県西部地域政策局では、浜名湖の歴史・文化、観光、環境、産業振興、まちづくりなどの地域資源を活かして活動する団体や企業等の連携を進めています。活動情報を発信するためのホームページが開設されました。活動団体も紹介されています。

ホームページ <http://www.hamanako-mh.net/>

### ■1/31(土)浜名湖魅力発信隊交流会のご案内

浜名湖の地域資源を活かして活動する団体や企業の交流会を開催します。当はまなご環境ネットワークでは、環境面で連携できるよう、この交流会の協力団体となっています。ぜひ参加してみなさんの活動を発表したり、他の団体と交流しませんか。

- 日時 平成27年1月31日(土) 13:30~16:30
  - 場所 「浜名湖レンガ館」 湖西市鷺津479-31 JR鷺津駅から徒歩5分
  - 内容
    - 1 基調講演 伴 一郎氏(大阪の水都賑わい創出実行委員長/伴ピーアール(株)社長)
    - 2 浜名湖連携活動モデル事業の事例報告(2事業)
      - ① サイクリングや船でめぐる遠江八景 ②「奥深い浜名湖ロマン旅」モニターツアー
    - 3 連携活動実施団体の紹介 ⇒ \*活動をPRしたい方を求めています!
    - 4 意見交換 \*浜名湖の魅力発信や連携活動について話し合います。
- ※終了後には、会費制による懇親会も予定されています。

☆問合せ先 NPO法人地域づくりサポートネット(電話053-458-3480 [info@shizuoka-t.net](mailto:info@shizuoka-t.net))



## 浜名湖のアマモ堆肥の野菜収穫のご案内

9月13日に浜松市西区村櫛町の畑でアマモを堆肥にして種まきをした野菜が大きくなりました。今年も大型の台風が上陸し、この畑も影響がありましたが、なんとか大きくなっています。野菜の成長具合や状況を見ながら、収穫をしたいと考えています。

- 日 時 平成27年2月7日(土) 10:00~
- 集 合 浜名湖ガーデンパーク北ゲート付近の駐車場
- 参加費 無料(収穫した野菜は参加者で分けます)
- 主 催 はまなご環境ネットワーク 協力:NPO法人むらちゃネット



大きくなりはじめたアマモ堆肥の野菜

### ★浜名湖アートフォト&動画コンテストの締切り迫る!(締切H27.1.8)

NPO法人浜名湖クラブ <http://www.npo-hamanakoclub.jp/index.html>

### ★サイクリング&十遠見八景フォトコンテストの締切り迫る!(締切H27.1.12)

かんざんじ温泉観光協会 <http://www.kanzanji.gr.jp/event/1201/>

### 【事務局から】はまなご環境ネットワークは3月で発足後10年!

2月下旬又は3月上旬にワークショップ形式の「意見交換会」を予定しています。ネットワークの各団体の近況報告と10年目を迎えたネットワークのあり方、今後の重点事業などを話し合います。日時、場所等は改めて、チラシやインターネット、Eメールなどでご案内します。

はまなご環境ネットワーク 広報誌

# はまなご環境通信

発行/はまなご環境ネットワーク **第23号**  
 発行日/平成26年12月25日  
 事務局/NPO法人地域づくりサポートネット  
 浜松市中区常盤町133-13 TEL.053-458-3480  
 Eメール [info@shizuoka-t.net](mailto:info@shizuoka-t.net)

## 浜名湖の“困りもの”を活かす環境保全の取り組み

浜名湖には、困りものがあります。湖側の困りものは“アオサ”と“湖岸に打ち上げられたアマモ”。陸側は、“放置された竹林”で、いずれも処分に困っています。でもこの困りものたちを昔から農業や人々の暮らしに活かして自然との共生をしてきました。

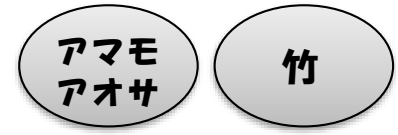
湖岸に打ち上げられたアマモ・アオサをボランティアが参加して、回収し畑の堆肥として活用しています。

庄内小学校でも児童たちが浜名湖の歴史を学び、アマモを堆肥にした土づくりを行い、学校の花壇やプランターで野菜を作る試みをしています。

また、有機農法にこだわる地元の肥料店が2013年に「もみ殻堆肥」にアマモを混ぜて堆肥を作り、試作品は完売。2014年は、当ネットワークの支援で浜名漁協の協力で回収したアオサとアマモを入れて浜名湖環境保全型の「あまもみ堆肥」の試作品を作り、店頭で45ℓ袋800円で試験販売中。

お問合せ先: 有限会社宮本肥料店(浜松市西区湖東町979-2)

放置竹林の竹資源の活用については、静岡県西部地域づくり活動支援協議会が、竹を粉末状にして乳酸菌の力を使って育てた牛や野菜を食材として料理に活かしていく取組がはじまっています。竹を粉末状に粉砕する機械を開発した企業(丸大鉄工株式会社)が呼びかけ、12月11日に浜松市内のホテルで約170人が参加して試食会が開かれました。



庄内小学校でアマモ堆肥の野菜づくり



竹を活用して料理に活用する試食会



竹を活用する企業や団体のパネル紹介

この取組により、放置された竹林の再生につなげるとともに、6次産業化の取組にもつながると期待されています。ものづくりの技術や様々な主体の得意分野を活かし、浜名湖の環境を保全しながら、活性化にもつなげる動きが広がっています。

## 8/23(土) 浜名湖エコキッズ体験塾2014 in渚園 実施

平成26年度の第1回は、浜名湖畔の浜松市西区舞阪町「渚園」にある浜名湖体験学習施設「ウォット」と船を使って、いきものや浅瀬の状況を観察したり、水質検査を体験することで、浜名湖の水環境に関する知識を得て、環境を守る大切さを学びました。

### ① ウォットの施設見学…いきもの講習・観察

普段は見ることのできないウォット（水族館）の飼育室やえさの準備室、排水の浄化装置などをスタッフの解説を受けながら2グループに分かれて見学しました。

排水施設では、ウォットで使った水を排水する前に浄化して浜名湖の水を汚さないようにしていることを学びました。



ウォットの裏側を見て・体験

### ② 浜名湖の湖上観察(アマモ場観察、湖底の観察)

3艘の船に分かれて出発し、湖面の風景やカキ棚の見学をしました。村櫛のガーデンパーク南側の浅瀬（アマモ場）では、船を降りてアマモやアオサ、ヤドカリやアサリなどのいきものの観察をしました。アオサがたくさん浮かんでいるのを見てびっくり！リンを吸い込んで大きくなりますが、これが打ち上げられると困ります。また、今年は漁業者による漁獲量制限の効果もあってアサリがかなり増えていました。自然の再生する力を実感しました。

次に鷲津の旧汽船場近くに向かい、湖底のヘドロにまみれた海藻を引き上げ、湖底の真っ黒いヘドロの悪臭はかなり強く、同じ浜名湖でも湖底の環境が異なることを学びました。



アマモ場ではアサリ以外にアオサも大量に



湖底のヘドロにまみれた海藻の悪臭

### ③ 浜名湖の水質検査と水質浄化の取組み活動紹介

今回は、①新川（志都呂イオン付近）、②弁天島海浜公園、③鷲津旧汽船場付近、④アマモ場（ガーデンパーク南）の4箇所で採取した水の水質を検査の体験を行いました。検査はCOD、アンモニウム、硝酸、リン酸の4種類を簡易検査試薬で調べ、芥川会長からは、検査結果から地域の環境の状況などの解説を聞きました。新川は弁天島海浜公園やガーデンパーク南側と比べて、生活排水や農業などの影響を受けている値が出て、場所により水質が違うことを学びました。

また、湖西市で浜名湖に流入する浜名川の浄化活動を行っている「EM倶楽部/湖西」の疋田代表から、EM菌の効果やEM菌を活用した水質浄化活動の説明を受けました。



浜名湖の水質を検査する子どもたち

## 10/26(日) 浜名湖エコキッズ体験塾2014 inいなさ 実施

第2回浜名湖エコキッズ体験塾は、10月26日に都田川の源流域の“水とみどり”の環境を学ぶテーマで浜松市北区引佐町の「てんてんゴーしぶ川」で開催しました。

### ① 森林環境講座(浜名湖の水源について)

○はまなこ環境ネットワーク芥川会長

渋川地区は浜名湖に注ぐ都田川の源流であること、上流域の森の環境と浜名湖との関係について学びました。

○TENKOMORI（天竜これからの森を考える会）前田剛志氏  
「いのちのばずる」というYouTubeの動画映像を使って、森の役割や森の環境を守る大切さを学びました。



間伐が大切なことを前田さんから学ぶ

### ② 森林環境講座(森林観察)

てんてんゴーしぶ川の敷地にある森で前田氏の解説により、「管理が必要な森」、「管理がされている森」の両方を見比べました。間伐していない森は日光が差し込まず、うす暗く木は細く、斜面がきつい所では土砂崩れの危険もあります。

また、間伐されて光が差し込む明るい森は、一般的により状態と言いますが、土がむき出て下草が茂っていない状態の所があり、ここはあまり良い状態ではないと教えてもらいました。



森林の状況を観察

### ③ 森林作業の体験

前田氏に森林作業を学ぶため、ヒノキの伐採をしてもらいました。チェーンソーの音、木が倒れる音、キコリの技術を学びました。子どもたちは伐採方法の説明なども熱心に聞き、切り口の観察などの関心も高く、最後の木を倒す時にロープを参加者が一緒に引っ張ることで、伐採作業に参加した実感をもつことができました。

皮を剥いだ幹には、水分がたくさん含まれていることを体験しました。木がたくさん水を貯えていること、蒸散作用で蓄えた水を発散して、その水が雨になり、木が吸収したり、川に流れて飲み水になったり浜名湖に注いだりしていることも学びました。



間伐の実演森林作業の技を体験

### ④ 薪を使った調理・地元野菜の食体験

飯盒を使って薪で昼食用の「サツマイモごはん」を炊きました。地元のお米とサツマイモ、薪は森のめぐみであり、子どもたちは自分たちが食べるご飯を炊くための“燃える木や葉っぱ”を集めました。山の恵みをおいしくいただきました。



山の恵みで食体験